（管理規則第３条実施要領　別紙様式）

最終更新日	２０１６年（平成２８年）４月１０日

大門中学校区	校番　２５	福山市立　大津野　小学校

２０１６　年度（平成　２８　年度）学校評価自己評価表（案）

Ⅰ　福山市のめざす子ども像

福山に愛着と誇りを持ち，変化の激しい社会をたくましく生きる子ども

Ⅱ　前年度の学校関係者評価を踏まえた改善点

・福山 100NEN 教育を踏まえ，小中一貫教育・地域との連携・協力体制をより強固にする。
・学力向上の面で，改善に至っていない評価項目の再考する。
・自己肯定感の低い児童の固定化に対する取組の改善をする。

Ⅲ　中学校区

１　めざす子ども像

自ら考え，学び，自尊感情を高める児童・生徒の育成

２　研究主題及び主な研究内容

自ら考え，学び，自尊感情を高める指導のあり方
・道徳教育の推進

３　現状（成果及び課題）

（１）児童生徒

・基礎・基本状況調査の通過率が県平均と同じか上回っている学校数
小学校（国Ⅰ　1/3　国Ⅱ　0/3）（算Ⅰ　3/3　算Ⅱ　2/3）（理Ⅰ　2/3　理Ⅱ　1/3）
中学校（国Ⅰ　1/1　国Ⅱ　1/1）（数Ⅰ　0/1　数Ⅱ　0/1）（理Ⅰ　0/1　理Ⅱ　0/1）
・校区の学校　児童・生徒の達成率
②　家庭学習時間　小学校(低 30 分以上 91%中 60 分以上 85%高 90 分以上 71%)中学校(90 分以上 32%)
②服装・時間　小学校(服装　86%　時間　82%)　中学校(服装　98%　時間　98%)
③自らあいさつ　小学校(90%)　中学校(95%)
④問題行動　小学校累計(暴力 1 件 いじめ 4 件 不登校 0 人)　中学校(暴力 3 件 いじめ 1 件 不登校 3 人)
⑤自尊感情　「自分の良さは周りの人から認められていると思う」「とても」小学校　17%
中学校　25%

（２）授業

・授業の「めあて」が活動目標にとどまり，思考力・判断力等の深まる指導になっていない。
・形態としては，ペア・グループ学習を行っているが，互いに学び合い，高まり合う協同学習まで至っていない。

Ⅳ　自校

１　学校経営方針

（１）　学校教育目標

大きく広げる知識　　積み上げる伝統　　のばす体力

（２）自校の使命（ミッション）

見えない「人間の根っこ（学問・社会性）をつくる

（３）自校の将来像（ビジョン）

「知」・・・真剣に学習し，基礎学力をつける学校
「徳」・・・黙って掃除，あいさつができる学校
「体」・・・めあてを守って運動・外遊びに励む学校

２　研究主題及び主な研究内容

主体的に学び，確かな力をつける授業の創造
・学びを実感できる単元づくり
・課題追求の手立てとしての「めあて」「まとめ」「振り返り」
・対話を活かした共同的な学習

３　現状（成果及び課題）

（１）児童生徒

〇日々の登校班や縦割り掃除のつながりの中で，リーダーが育ってきている。
△いろいろな場で認め合う取組をしてきたが，自己肯定感が低い児童が固定化している。
△決められたことは動くが，自分で考えて，行動する力が弱い。

（２）授業

〇国語科において単元のゴールを児童と共有したり，評価規準の提示をしたりすることで，児童の学ぶ意欲や教師の評価意識が高まってきている。
△評価規準の質が課題である。
△めあて・まとめ・振り返りを意識して授業を行っているが，教師主導で，児童が主体的に課題を発見したり，追求したりする授業が少ない。

４　めざす授業の姿

自ら考え，学び，自尊感情を高める授業
・自分の考えを書くことができる授業
・児童が互いに学び合い「わかった」「できた」「学びが深まった」と実感できる授業

（管理規則第３条実施要領　別紙様式）

最終更新日　　２０１６年（平成２８年）４月１０日　　２０１６年度（平成２８年度）大門中学校区　校番　２５　　福山市立大津野小学校　　No.（　１　）

Ⅴ　目標・取組・評価指標等の設定と評価

市重点目標	年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	目標達成に向けた取組	評価指標	１０月１日 □指標にかかる取組状況 ◎改善方策	ﾌﾟﾛｾｽ評価	達成評価	２月末 □指標にかかる取組状況 ○短期（中期）経営目標の達成状況 ◎改善方策	ﾌﾟﾛｾｽ評価	達成評価	総合評価
確かな学力	1	基礎学力を身につけた児童の育成		見直し	国語科・算数科における基礎学力を高める。	・つけたい力を明確にし，毎時間評価規準を提示する。	△国語科の単元テストの全観点において，60%未満の児童を低学年６%未満，中学年９%未満，高学年 12%未満にする。　【単元テスト】							
							△算数科の単元テストの「技能」観点において，60%未満の児童を低学年６%未満，中学年９%未満，高学年 12%未満にする。 【単元テスト】							
豊かな心	1	ルールを守り，自尊感情をもった児童の育成		継続	大門中学校区スタンダードの「時間を守る」習慣を身につけさせる。	・「Let's　start キャンペーン」を実施する。（４月・６月・９月・11 月・１月）	△「次の学習準備」ができている児童を 95%以上にする。 【教師評価】							
			★	継続	自尊感情を高める。	・自尊感情を高める活動を年間６回以上導入する。	△「自分の良さは周りの人から認められていると思う。」と肯定的評価をする児童を 80%にする。【児童評価】							
健やかな体	2	自分の身体に関心をもち，自ら健康・体力の向上を目指す児童の育成		見直し	体力向上を図る。	・課題のある種目について家庭学習や体育の準備運動に取り入れる。	△体力テストにおける県平均以上の種目率を 65%以上にする。【体力テスト】							
			★	新規	健康増進を図る。	・残菜日数が 20%以下または，前月の残菜率を下回った学級を月ごとに表彰する。	△給食の残菜が，全校合わせて 1.2 ㎏以下の日を月の半分以上にする。 【給食残量】							

（管理規則第３条実施要領　別紙様式）

力量ある教職員	1	自ら確かな授業力を高める教職員	★	新規	授業力の向上を図る。	・若手ミニ研修を年間 10 回実施する。	△授業者が目標を達成できたと思う授業を学期に２回以上その授業の板書を写真に残す。　【板書写真】							
						・児童の思考力・判断力・表現力を高める課題追求型のめあてにする。	△めあてに対するまとめや振り返りを自分で書ける児童を低50%中60%高70%にする。　【ノート評価】							
市民から信頼される学校	1	保護者・地域から信頼される学校の創造		見直し	保護者・地域との連携・協力を強化する。	・PTA 活動や地域行事を教職員・児童が知る。	△PTA 活動や地域行事に参加する児童を延べ人数で全児童数の 150%以上にする。【参加状況】							
				見直し	子どもの育ちが見える情報を発信する。	・子どもの様子が分かる学年・学級だよりの発行とHPの更新を月２回以上する。	△「子どもが楽しく学校に行っている。」と肯定的評価をする保護者を 90%以上にする。　【保護者評価】							

［達成評価の評価基準］

評点	評価基準
5	目標を大幅に達成し，十分な成果をあげた
4	目標を概ね達成し，望ましい成果をあげた
3	目標をある程度達成し，一定の成果をあげた
2	目標を下回り，成果よりも課題が多かった
1	目標を大きく下回り，成果が認められなかった

［プロセス評価の評価基準］

評点	評価基準
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ，状況の変化，問題が生じた際は，協同的な課題解決が十分に図られた
4	取組の目的に対する共通理解が認められ，状況の変化，問題が生じた際は，協同的な課題解決が概ね図られた
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ，状況の変化，問題が生じた際は，協同的な課題解決がある程度図られた
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く，状況の変化，問題が生じた際の協同的な課題解決をあまり図ることができなかった
1	取組の目的に対する共通理解が認められず，状況の変化，問題が生じた際の協同的な課題解決を図ることができなかった

［総合評価］

評価	基　　準	
5	１００％以上の達成度	十分に目標を達成できた
4	８０％以上１００％未満の達成度	概ね目標を達成できた
3	６０％以上８０％未満の達成度	ある程度目標を達成できた
2	４０％以上６０％未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
1	４０％未満の達成度	目標を達成できなかった